

町政を問う!

一般質問 全議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

- 1 住民への情報伝達と生涯学習について
- 2 建設事業における変更契約あるいは追加契約の適正化について
- 3 空き家対策・移住推進について

大賀広史 議員

- 1 これからの教育行政
- 2 北部地域活性化事業
(第1期計画の総括)

日坂和久 議員

- 1 北部地域活性化等に関する取り組みについて
- 2 デマンドタクシー運行内容の見直しについて

松浪健一郎 議員

- 1 町の自主財源確保のためにも、ふるさと納税の更なる拡充が不可欠と考える。新規のラインナップの商品を提案する

森 利夫 議員

- 1 北部地域活性化事業と地元対策事業について
- 2 学校給食費について

小川唯一 議員

- 1 農業行政

中山明美 議員

- 1 埼玉版スーパー・シティプロジェクトについて
- 2 教育現場でのコロナ感染第6波の影響は
- 3 スマホ教室の開催を

石井 徹 議員

- 1 町制施行40周年事業について
- 2 北部地域活性化事業の今後の取り組みについて

根岸富一郎 議員

- 1 加齢性難聴者に支援を
- 2 農業振興について
- 3 石坂の森を公園に

野田小百合 議員

- 1 福祉の見地からのごみ収集支援について
- 2 住民と共に町の魅力を作り出すために

小鷹房義 議員

- 1 道路標識について
- 2 町内道路上の照明について
- 3 町内のカーブミラーについて

石井計次 議員

- 1 成人年齢引き下げについて
- 2 水道事業について
- 3 町内の県事業について



関根 清隆 議員



スマホ・アプリなら、スマホに町の情報が入れれば、ピピッと知らせてくれるよ

鳩山町情報

町情報をスマホでピピッと受信

既存アプリも含め、前向きに検討する

問 今後、ガラ携は無くなり、スマホが主力となる。スマホでは情報が入るとピピッと知らせてくれるアイコンにはマークが付く。これを「プッシュ通知機能」と言う。町のHP（ホームページ）はスマホでも見られるが検索操作が必要で、通知もない。パソコンでは起動しないと見られない。そこでスマホ・アプリを作れば、緊急時やワクチン情報など、防災無線が聞こえないところでも速やかに情報伝達ができる。そのアプリからHPへ跳べばスマホでHPが見られる。埼玉県では「ポケットブックさいたま」、近隣自治体では日高市の「ひだか知っ得情報アプリ」があり、移住時に市役所の窓口でアプリを入れてくれる。鳩山でもこのようなスマホ・アプリを作ってもらいたい。

答 スマホからTwitterやFacebookのプッシュ通知機能が設定できる。複数のアプリは運用上課題もある。広く利用



日高市のスマホ画面例

されている「LINEアプリ」などを導入する自治体も増えている。プッシュ通知機能は情報提供に効果的だと思うので、広く使われているアプリを活用する方向で検討したい。

問 Twitter、Facebook、LINEは別の目的（アカウト登録して情報入力するアプリ）であり、町情報の中心はHPなので、パソコンでHPを開かなくてもスマホなら通知が来るし、絶えず携帯しているので、アプリをタッチすればすぐ緊急情報やHPが見られ、高齢者にも使いやすい。ぜひ検討願いたい。

答 少し時間をかけ、費用面・運用面を含めて前向きに検討したい。

起債約14億円

この借金、だれが払うの

町民の税が原資となる

大賀 広史 議員



民間企業なら倒産だよ！

問 これからの教育行政

答 教育長に持続可能な教育行政への考えを伺う。

問 園児数が減少している鳩山幼稚園については、図書館と連携しながらデジタル図書を導入して大型モニターで読み聞かせをしたり、栽培活動に取り組み、食育を推進している。また、園の活動を新聞社などに発信し、今年から園のホームページを開設した。

答 園児数が減少している。鳩山幼稚園については、図書館と連携しながらデジタル図書を導入して大型モニターで読み聞かせをしたり、栽培活動に取り組み、食育を推進している。また、園の活動を新聞社などに発信し、今年から園のホームページを開設した。

問 今後は、長期的な視点に立って園児数の適正等について、幼児・児童教育の今後のあり方検討委員会を立ち上げていく。

答 北部地域活性化事業

問 足掛け2年にわたって要望してきた第1期取組方針の報告書が、ようやく議会に示された。両地区の1期5年間の事業費総額を伺う。

答 未完了の事業もあるが、総額約21億円。

問 計画起債総額と実際の起債総額はいくらか。

答 計画総額約6億円に対し、実際に起債した額は約14億円となった。



たったひとつの鳩山幼稚園

問 約8億円も借金が増えたのか。こんなでたらめをやっていたら、民間企業では倒産する。誰がこの借金を背負うのか。

答 町民の税等が原資だ。

問 こんなやり方では10年で借金（起債総額）が37億円も増えるわけだ。第1期計画の際、全力で取り組めと指示していた町長は、起債を抑制せず、これだけ散財した責任をどう考えているのか。

答 起債が膨らんだことについては、起債削減計画を作成して、現在、起債額を抑える取り組みを進めている。第2期計画においては、反省点を踏まえ、進めていきたい。

日坂 和久議員



何年も前から構想！
やるならしっかりと
やりましょよう。

北部地域活性化

入西赤沼線の延伸は可能なのか

構想はあるが、整備は非常に困難

問 北部活性化等の取り組み
町営路線バスの運行は、単に公共交通空白地域からの便利な交通手段の確保のみが目的ではなく、地方創生推進に関わる滞在回遊型観光の移動手段として役割を持つとされている。同じく、地方創生推進に関わる活性化施設（交流体験エリア等）が整ったが、路線バス運行と活性化施設運営の結び付けは、いかに行うのか。

答 路線バスと活性化施設の連携は、第1期取組方針で検討した。一例は「やまや獅子舞」を地域伝統文化として町外へ発信し、来訪者獲得を地域協議のもと計画している。残念だが未実施である。

問 路線バスと地方創生関連の活性化計画との結び付けについて、指定管理者の受け止め方は。

答 町から、双方の結び付けについての提案はしていないが、どうするか。

問 今後、どうするか。

答 路線バス運行と活性化施設運営の結び付けの

取り組みは、第2期取組方針を進める。

問 入西赤沼線延伸の可能性は調査したのか。

答 都市計画道路としての延伸は困難だ。

問 6次総合計画では、主要幹線構想道路として、事業化するのか。

答 ハードルが高い。

問 町道第1号線と連結させる整備構想だが、実現に向けた意気込みを伺う。

答 入西赤沼線延伸の事業化でさえ困難だ。町道第1号線との連結となると非常に困難であると捉えている。



6次総合計画における主要幹線構想道路図

ふるさと納税

ラインナップの拡充を

なかなか難しい

1億円くらいは
集めたい

松浪健一郎議員



問 町の自主財源確保にも、ふるさと納税の拡充が不可欠と考える。新規のラインナップを提案する。[MUSIC GIFT CARD]をラインナップに。

答 無印良品が発行するギフトカードで、町内のみ利用できる金券や利用券、ポイントならば可能。ただ全国的に使えるものは返礼品の対象外。

また、総務省の担当者から、鳩山町に良品計画の物流センターがあるだけで、本社や製造工場がないので、無印良品の商品を返礼品に加えることはできないと回答を受けた経緯がある。

問 美味しい鳩山産の米はどうか。

答 供給量も少なく、通年を通して提供できない。JA埼玉中央鳩山農産物直売所の責任者に相談し

問 美味しい鳩山産の米はどうか。

答 供給量も少なく、通年を通して提供できない。JA埼玉中央鳩山農産物直売所の責任者に相談し

たが断られた。

問 サイボク加工品の品数を増やせないか。

答 令和2年、3年と2種類ずつ増やしてもらった。これ以上は難しい。

問 デジタル感謝券の使用できる店舗を増やせないか。ゴルフ場だけでも3つ、固定資産税をもらっているゴルフ場も入ると6つくらいになる。プレー代金で払えると納税額が跳ね上がると思う。

答 検討して、前向きに取り組んでいきたい。

問 泉井交流体験エリアを使った、田植え体験もどうかはどうか。

答 いろいろ考えていく。ちよっくまの商品は、ちよっくままで鳩山の何らかの製品を使っているか、加工品にしなければ、返礼品にできない。



ふるさと納税サイト

水路改修工事

下流部で水路断面積が小さいが

流量計算をして変更設計をしたい



森 利夫 議員

現場を見ないで設計・施工するから、工事のたびに追加が出るのだ

問 能瀬ヶ沢沼から鳩川までの、水路整備工事の概要は。

答 上流部では、一部水路線形の見直しと幅600ミリのU字溝新設を行い、下流部は同じ幅のU字溝に布設替えをする。

問 鳩川に流入する直前の既設U字溝がジグザグだが、直線的に改修できないか。

答 整備見直しは困難だが、布設替えの部分で考える。

問 鳩川が増水すると河口部は水没する。流れ込み部分を少しでも高くできないか。

答 鳩川までの水路整備なので、ヒューム管の位置改修には対応できない。

問 水路に600ミリのU字溝を布設して、外径450ミリのヒューム管で鳩川に流し込む。そんな工事でいいのか。

答 県との調整、工期等もあり要望の実現は難しい。

問 工事は現場をよく見てからやれ。上流部の改修工事だけで良いのか。



鳩川に流れ込む水路の下流部現状

答 流量計算をして不都合があれば、変更設計をして工事をするということになる。

問 給食費を公会計に移行すると集金方法は。

答 今まで同様、保護者から各学校の指定口座に振り込まれる。

問 直接、町に振り込めるようにしないのか。

答 収納率や保護者との連絡調整等もあり、今まで通りとした。

問 今回の給食費値上げはするべきでない。子育て支援策として、給食費の町一部負担については。

答 安全、安心かつ栄養価の高い給食を提供するために必要な改定だ。

町のブランドを作る

ちよっくまの問題点は

出荷量確保



小川 唯一 議員

町のブランド化を考えた

問 町のブランドを作る必要があると思うが。

答 継続して栽培が続けられ、一定の収穫量があることが必要である。

問 何を町のブランドと考えるか。

答 里山、宇宙、健康長寿の町と言ったキーワードを活用したブランドが考えられる。

問 地域のブランドを作り、リピーターを増やし町のイメージアップを図ることをどのように捉えているか。

答 ふるさと納税の返礼品への採用、町のイメージアップの向上に視点をもち、農家の収入向上につながるかと考えている。

問 鳩山産大豆で町の目玉を作ったかどうか。

答 健康、宇宙、幸福などのキーワードを絡めて大豆を主眼としたブランド化を目指す。

ちよっくま

問 オープン後の問題点は何かあるか。

答 大きな課題は、安定した野菜等の出荷量の確保。メインとなる野菜等

が品薄で、直売所の魅力を欠く。

問 どの様に解決しようとするのか。

答 出荷登録団体を設立し、計画的な出荷量を確保する。

問 年間費の負担額はいくらか、何に使用するのか。

答 現時点で負担額は未定。使用目的は、資料作成費、販売イベント等に使用する。

問 町が所有している絵画を、コミュニケーションペースに展示したら、来客数が増えるのではないか。

答 当課では判断しかねる。絵画の所管課に確認し、検討させていただきたい。



町のブランドは

中山 明美 議員



誰もが安心して暮らし続けられる持続可能な地域大事だよー

埼玉版スーパーシティ

町は何を目指すのか

地域の充実と活性化

問 町はスーパーシティ実現で何をを目指すのか。

答 ①必要な機能が集積し、ゆとりある魅力的な拠点を構築する「コンパクト」。

②新たな技術の活用などによる先進的な事業を実現する「スマート」。

③誰もが安心して暮らし続けられる持続可能な地域を形成する「レジリエント」。3つの要素を実施していく自治体に埼玉県として支援を行う。町では、すでに取り組みを行っているが、課題もある。地域の充実を図りたいとエントリーした。

問 市町村、民間企業、住民、県が協働していくとあるが。

答 町が期待しているのは企業とのマッチングと県の財政支援。3月から、県が応援企業等の登録制度を創設し、募集を始める。県の財政支援の具体的な内容は、4月以降に示される。エントリーしてくれる企業があれば、協議を行う。県補助金を活用する事業を行うので

あれば、地域まちづくり計画を作成する。

問 登録制度とはどのようなものか。

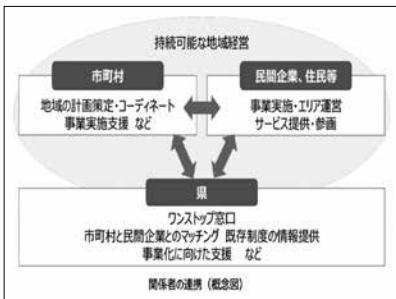
答 プロジェクトに賛同する企業等を登録、公表することで、官民連携によるまちづくりを推進する。

問 地域まちづくり計画は、いつ頃実施できるのか。

答 早くても、令和5年度以降になると考えている。

問 マッチングしなければ、地域まちづくり計画が作成できないのか。

答 町単独事業、町と地域団体との連携も対象になる。



市町村、民間企業、住民、県が協働の仕組み

北部地域事業

今後の道路整備に係る財源は

削減効果次第で起債を活用

町制施行40周年事業

問 各種事業が企画されているが、町民主体の冠名使用事業の応募が3件で少ないと思うが。

答 コロナ禍で各種団体の事業の予定が立たないのが原因。申込期限を延長して受け付ける。

問 若手職員で組織しての実行だが、その目的は。

答 将来主要事業を担当する若手職員の行政運営に必要な力を養うために、経験の場を提供したい。

北部地域事業今後の取り組み

問 町道第1号線第2工区の用地測量を来年度1080万円で実施だが、計画当初に同区間を含め全工区の測量を5600万円ですべて実施してないか。

答 実施している。

問 第2工区の再測量が必要になったのか。

答 農地の活用や道路線形の問題等の調査が、改めて必要になったため。

問 計画前から農地であり、事前の協議不足で再設計他の約1400万円が更に必要になったので

は。

答 整備を進めていく中で対応が必要になった。

問 今後の町道第1号線と第52号線の整備予定は。

答 地元との協定書に基づき、継続して整備する。

問 両道路の事業期間と総事業費の見込みは。

答 工期は用地買収他不確定で示せない。総費用は町道第1号線が6億1千万円、第52号線は当初予算では約8億円。

問 これまでの経過をみると、今後10億円超の事業費が必要では。財源について、町長に伺う。

答 起債残高削減効果の推移を見ながら、起債を有効に活用したい。



町道第1号線第2工区整備予定の農地

根岸富一郎議員



少しの補助でもあればいいねー

加齢性難聴

補聴器に補助を

健康長寿の延伸の1つの案に

問 自主的に補装具を利用している人はいるか。

答 補聴器の利用が、あまり多くない状況。

問 就労指導もあると思うがどうか。

答 基本的にはない。自分らしく生きられるように指導している。

問 社会参加という観点からどうか。

答 健康寿命の延伸では、鳩山モデルの確立のために、1つのアイデアと受け止める。

農業振興

問 個人の直売所から「ちよつくま」等へ何件集荷するようになったのか。

答 「品ぞろえ」の観点から「ぜひご協力を」と言ったが、「現状のまま」という声もあった。

問 「農家がなくなる」という声にどう答えるか。

答 ある程度、長いスパンで取り組む必要がある。

石坂の森にトイレを

問 石坂の森は誰の所有か。

答 50ヘクタール(ha)中40haは町の所有で、10



haは民地。民地のうち1haは、賃貸借契約をし、石坂の森として、東松山市の市民の森と一体的に活用している。

問 当初予算では、どういう整備を予定したのか。

答 全町公園化構想の拠点整備だが、これからは環境の整備、さらにソフト事業を実施する。

問 石坂の森の公園化には、どんな規定があるか。

答 公園設置条例を作るのだが、全ての土地を所有または賃貸借契約されているのが前提である。

問 誰でも散策ルートに入れるようにならないか。

答 東松山市と共同的な取り組みをし、近くの市民の森バイオトイレを利用して欲しい。

高齢者等の福祉

福祉的見地からごみ出し支援を

先進自治体を調査し制度設計する

野田小百合議員



誰ひとりも取り残さないしくみの構築を

問 ニーズはどのようなか。

答 要介護状態や慢性的な障がいを持つ方にとって、ニーズは高い。

問 他自治体での取り組み状況は。

答 近隣では坂戸市、鶴ヶ島市、川島町で戸別収集を実施。

坂戸市は直営方式で244世帯、鶴ヶ島市は委託方式で27世帯、川島町31世帯。

問 今後、どのように進めていくのか。

答 介護保険制度の「生活援助サービス」「介護支援ボランティア制度」、社協の「ふれあい在宅サービス」、シルバー人材センターの「家事援助サービス」の活用を検討。

先進自治体の取り組み方法や成果、課題を整理し制度設計する。

北地域活性化

問 北地域と町全体の人材をつなげ、新たな魅力づくりができないか。

答 上熊井地区を中心に連携した取り組みが展開され、町内の人材がつながり始めている。

問 地域の女性の声は、反映できているのか。

答 活性化委員会の専門部会に、泉井は11人中4人、上熊井は8人中2人女性が入っている。

公共施設の環境整備

問 ふれあいセンター駐車場が不足する場合、はーとんスクエア駐車場を利用できないか。

答 柔軟に対応したい。

問 エレベーターがない中央公民館3階にピアノ設置。利用しづらいが。

答 利用者の意見も聞いて対応する。

問 使用簿に男女別の利用人数記載が必要か。

答 多様性社会でもあり、なくす方向で検討する。



足腰が弱くなったご高齢の方など坂道のごみ出しは大変

小鷹 房義 議員



4805日間
交通事故死者ゼロで
県内1位

交通事故対策

制限速度の変更は可能か

地域の住民の意見も聞く

道路標識について

問 制限速度の変更は可能か。

答 道路における制限速度の「規制実施基準」に基づき、都道府県公安委員会または警察署長により決定される。制限速度は、地域住民の意見も聞いた上で、変更も可能。

問 見通しが悪いカーブの予告は、どのようにするか。

答 標識ではなく、路面標示が望ましい。

道路の照明について

問 町内道路照明の設置場所は、どのように決定されるか。

答 町内道路の照明は防犯灯である。設置に関しては、区長・自治会長・町内会長から地域の要望を取りまとめている。

問 町内の蛍光灯照明とLED照明の比率をうかがう。

答 町内の防犯灯は約1700基設置しており、そのうちLED灯は約290基、LED灯の比率は17%、順次LED灯

への交換を行っている。

問 LED灯の節電効果はどうか。

答 全般的には、電気使用量の比率は約半分になるとされる。

カーブミラーについて

問 カーブミラー設置の条件をうかがう。

答 区長・自治会長・町内会長から地域の意見をとりまとめたとき、カーブミラー設置申請書の提出をお願いしている。



路面標示で安全になった道路



路面標示が望ましい見通しの悪いカーブ

県道岩殿・岩井線

事業の進捗状況と完工は

買収率84%・完工まで5年あまり

県事業の県道岩殿・岩井線について

問 進捗状況をうかがう。

答 鳩川に架かる重郎橋の架け替えを含む約600m区間の整備事業。用地買収の対象者19人のうち、16人との契約が完了している。

現時点での買収率は対象者ベースで約84%。用地取得に時間を要していることが事業課題と捉えている。

問 迂回路工事が来年度から開始予定だが、周辺への影響と、その対応策をうかがう。

答 工事の騒音、現道利用者への影響が考えられる。着工にあたり、周辺住民への説明を行いながら丁寧にするよう県に求めている。

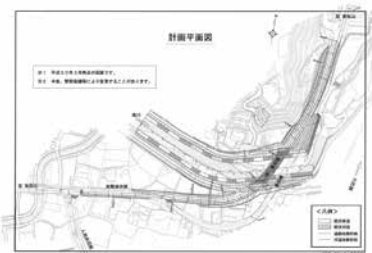
問 完了までの工期をうかがう。

答 県土整備事務所からは、少なくとも5年はかかるという。

成人年齢引き下げについて

問 法改正により本年4月1日より20歳以上から

18歳以上となり、親の同意なしでクレジットカード、住宅賃貸借契約なども可能になる。
社会経験が浅い中、金銭的リスクを考えると、町としても注意喚起の啓発をすべきではないか。
答 関東財務局から成人年齢引き下げに関する広報活動の協力依頼が来ている。町ホームページ、広報はとやまにも掲載し周知を図りたい。
問 継続的に注意喚起をお願いする。当町の18才19才の人数をうかがう。
答 18歳男性61人、女性46人、合計107人。19才男性57人女性が45人、合計102人、この人数は令和4年3月1日現在は



重郎橋架け替え計画図

企業誘致にも
つながらず
道路整備!

石井 計次 議員

